

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 20 日現在

機関番号：34414

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2011～2013

課題番号：23320097

研究課題名(和文) 根来寺聖教の基礎的研究 智積院聖教を中心として

研究課題名(英文) Study of the sacred books related to Negoro temple/For the sacred books possessed by Chisyaku-in Temple/

研究代表者

宇都宮 啓吾 (UTSUNOMIYA, KEIGO)

大阪大谷大学・文学部・教授

研究者番号：40257902

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 14,500,000円、(間接経費) 4,350,000円

研究成果の概要(和文)： 今回の研究によって、真言宗智山派総本山智積院の新文庫に所蔵される約3500点の聖教の書誌データの採取と目録化が完了した。また、新文庫には、豊臣秀吉によって壊滅的な被害にあったとされる根来寺(和歌山県)に由来する聖教が数多く所蔵されていたことから、「根来寺文化圏」の解明に大きく寄与することとなった。

。さらに、この調査の中から、世界最古の写本や重要文化財の僚巻も発見されるなど、新たな発見もあった。

研究成果の概要(英文)： Becoming it completed collection and the list of the bibliography data of approximately 3,500 points of sacred books possessed by Chisyaku-in Temple. Because we understood that Chisyaku-in Temple possessed the sacred book related to Negoro-ji temple in large quantities, a study of the history and the culture of the Negoro-ji temple advances. We discovered the fragmentary documents of the world's oldest manuscript and important cultural property.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・日本語学

キーワード：智積院聖教 根来寺聖教 新義真言宗聖教 デジタルアーカイブ 訓点資料

1. 研究開始当初の背景

近年、日本思想の源流たる日本仏教の思想的大系の成果である聖教に注目が集まっている。この点は日本国内のみならず、諸外国にまで及び、海外においては真言宗系聖教、特に密教系聖教には関心が高まっている。そのため、今後は海外の聖教をも視座に入れ、学際的・国際的に研究を進めていく必要が存する。特に、根来寺は1157年によってヨーロッパに紹介されるなど、当時の教学拠点として巨大な知の集積を行っていた寺院であるために、その聖教群に対する関心は国内外においても関心が集まっている。しかし、根来寺聖教群自体が豊臣秀吉の侵攻によって消滅したものと認識されて来たために、その体系的な研究自体が成り立ち難いものとして、その解明が立ち遅れていた。そのような現状の中で、申請者の前科研(H20～H22「智積院聖教における典籍・文書の基礎的研究」)によって、智積院新文庫における根来寺聖教の発見とその実態が把握され始めたことからこの分野の研究が大きく進展する機会を得ることが可能となった。

2. 研究の目的

前科研(「智積院聖教における典籍・文書の基礎的研究」)において、従来は断片的な残存として認識されて来た根来寺聖教群が新義真言宗智山派総本山智積院所蔵新文庫に存することを確認し、また、その素性と概要を明らかにした。この成果によって、智積院御当局では科研調査済の聖教についての一般公開を検討され、また、前科研で新たにその存在が確認された約2000点の聖教群の調査とその関連寺院の聖教調査の推進に向けて、御当局より全面的な協力を得るに至った。まさに、科研の成果を社会的還元へと昇華する機会を得たと言える。そこで、根来寺聖教群の実態解明に向けて、智積院新文庫蔵聖教のうち、現在未調査の聖教群(46函～61函)の詳細な聖教目録作成と今回確認された聖教群約2000点の整理・略目録作成を行ない、合わせて、その成果に基づく新義真言宗寺院の調査を行なうことで今後の体系的な研究のための基礎的な分析を試みる。

3. 研究の方法

従来、研究の進んでいない未公開聖教群として、根来寺聖教を大量に有する真言宗智山派総本山智積院聖教を対象に、その悉皆調査(未調査分15函)と略目録作成(新発見資料2000点)それらに基づくデータの公開、また、その成果を踏まえた諸宗交流の実態解明の為に聖教データベース・血脈データベースの構築や、北の環境(いつ、どこでも聖教に関する知識を入手可能な環境)整備の方策を検討する。

合わせて、関連寺院における聖教調査を行なうことによって、根来寺聖教の研究を広く公開していく。

4. 研究成果

今回の研究によって、真言宗智山派総本山智積院の新文庫に所蔵される約3500点の聖教の書誌データの採取と目録化が完了した。また、新文庫には、豊臣秀吉によって壊滅的な被害にあったとされる根来寺(和歌山県)に由来する聖教が数多く所蔵されていたことから、「根来寺文化圏」の解明に大きく寄与することとなった。

さらに、この調査の中から、世界最古の写本(『二障義』)や重要文化財の僚卷(『管見抄』)、従来未知の聖教類も発見されるなど、新たな発見もあった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

(雑誌論文)(計38件)

1) 宇都宮啓吾、久安六年本『三国祖師影』の訓点について 池上阿闍梨点を巡る一問題、大阪大谷国文、44、査読無、47-63、2014

2) 宇都宮啓吾、智積院蔵『二障義』について その伝来を中心として、智山学報、63、査読無、225-237、2014

3) 宇都宮啓吾、十一世紀における天台宗山門派皇慶門流のヲコト点について、訓点語と訓点資料、132、査読有、1-15、2014

4) 苜米地誠一、海住山寺聖教について、智山学報、63、査読無、239-256、2014

5) 苜米地誠一、隆海一門(家隆流)と高野山大伝法院、大正大学大学院研究論集、99、査読無、1-13、2014

6) 苜米地誠一、真光院経瑜をめぐって、頼瑜撰『真俗雜記問答鈔』(号数ナシ) 査読無、121-144、2014

7) 野呂靖、高山寺系華嚴における海東仏教の受容、忘れられた韓国の仏教思想家 金剛大学・東国大学共同国際学術大会プロシーディングス、(号数ナシ) 査読無、45-56、2014

8) 高橋秀城、参詣と和歌、徳田和夫編『中世の寺社縁起と参詣』(中世文学と隣接諸学8、竹林舎) 8、査読無、300-324、2014

9) 高橋秀城、『孝養集』の享受 智積院新文庫蔵本を中心に、磯水絵編『論集 文学と音楽史 詩歌管絃の世界』(和泉書院) 437、査読無、433-447、2014

10) 大谷由香、蓮如上人周辺と泉涌寺系浄土教団「見蓮上人門徒」について、真宗研究、58、査読有、201-222、2014

11) 大谷由香、智積院新文庫所蔵 志玉口述・道瑜筆録『梵網古迹下巻聞書』について、智山学報、63、査読無、193-214、2014

12) 宇都宮啓吾、典籍として見た訓点資料、口訣研究、30、査読有、139-162、2013

13) 宇都宮啓吾、教学的交流から見た院政期高野山のヲコト点伝播について 智積院蔵『上新請来経等目録』を手懸かりとして、智山学報、62、査読無、199-220、2013
14) 宇都宮啓吾、訓点から見た坂東本『教行信証』の一側面、大阪大谷国文、43、査読無、1-23、2013
15) 宇都宮啓吾、乙点図再考 乙点図の創始と漢籍訓読とを巡って、訓点語と訓点資料、130、査読有、19-32、2013
16) 苜米地誠一、大正大学付属図書館所蔵『真言宗付法血脈』紹介と翻刻、川勝守・賢亮博士古稀記念東方学論集(大正大学による刊行・号数ナシ)、査読無、431-452、2013
17) 大谷由香、中世後期における五辻山長福寺と「見蓮上人門徒」について、東洋の慈悲と智慧: 多田孝文先生古稀記念論集、(大正大学による刊行・号数ナシ)、査読無、579-618、2013
18) 高橋秀城、海住山寺蔵『[相生の松]』解説ならびに翻刻、大正大学研究紀要 98、査読無、101-108、2013
19) 高橋秀城、海住山寺蔵『[相生の松]』(絵巻)について、智山学報、61、査読無、139-155、2013
20) 西谷功、「滄洲」と入宋僧—南宋代における一律院の所在とその宗教的空間—、プロジェクト研究(早稲田大学)、8、査読有、57-72、2013
21) 小宮俊海、智山書庫蔵「持戒清浄」関係資料について 「持戒清浄大事」を中心として、密教学研究、45、査読有、207-232、2013
22) 横田隆志、長谷寺周辺の石と神々、大阪大谷国文、44、査読無、64-84、2014
23) 村川猛彦、竹原達也、Portable Full-text Retrieval System、Proceedings of the Eighth International Conference on Internet and Web Applications and Services、(号数ナシ)、査読有、114-119、2013
24) 遠藤淳一、村川猛彦、ユーザ種別と閲覧時間を考慮した Web 情報検索の行動特性調査、情報知識学会誌、23(2)、査読有、229-234、2013
25) 西谷功、鎌倉時代における泉涌寺流の道場荘嚴について、密経図像、32、査読無、38-61、2013
26) 宇都宮啓吾、智積院新文庫蔵の訓点資料について、訓点語と訓点資料、128、査読有、85 - 107、2012
27) 野呂靖、智積院新文庫蔵『華嚴五教章』注釈書類にみる中世後期の華嚴学、印度学仏教学研究、60-2、査読有、148 - 153、2012
28) 能島覚、智積院新文庫聖教と浄土教典籍、印度学佛教学研究、60-1、査読有、135 - 138、2012
29) 宇都宮啓吾、初機訓点資料における一問題、書誌学報、40、査読有、33-104、2012
30) 横田隆志、速成就院伝来『長谷寺密奏記』

と奥砂子平法、金沢文庫研究、329、査読有、1-11、2012
31) 横田隆志、長谷観音台座石伝承の展開、大阪大谷国文、43、査読無、62-86、2012
32) 野呂靖、普一国師志玉による『五教章』講説について 智積院新文庫資料を中心に、龍谷大学論集、480、査読無、634-640、2012
33) 高橋秀城、信仰曼荼羅 仏教と文学、仏教文学、第 36・37 号合併号、査読有、50-61、2012
34) 村川猛彦、Automatic conversion of SQL statements into NoSQL queries、情報知識学会誌、22(2)、査読有、126-131、2012
35) 赤尾栄慶・宇都宮啓吾、元時代・至元二十八年の華嚴経--角筆の使用を確認、学叢、33、査読無、13-16 / 109-114、2011
36) 村川猛彦、福岡整、丁敏、中川優、三宅徹誠、落合俊典、バージョン管理を用いた漢訳仏典翻刻支援システム、情報処理学会論文誌 データベース、4(2)、査読有、101 - 113、2011
37) 渡上将治、村川猛彦、宇都宮啓吾、中川優、文献調査支援のためのスタンドアロン型全文検索システムの構築、人文科学とコンピュータシンポジウム論文集、2011(8)、225 - 230、2011
38) 河中健馬、渡上将治、村川猛彦、中川優、全文検索システム選定支援システムの構築、情報知識学会、21(2)、査読無、191 - 196、2011

〔学会発表〕(計 29 件)

1) 横田隆志、唱導における縁起と靈験の位相、第 4 回東アジア宗教文献国際研究集会(招待講演)((台湾)政治大学) 2014 年 03 月 15 日
2) 宇都宮啓吾、智積院新文庫聖教について その成立と伝来を巡って、説話文学会(招待講演)(和歌山大学) 2013 年 12 月 08 日
3) 大谷由香、泉涌寺仏牙舍利と入宋僧湛海について、日本印度学仏教学会第 64 回学術大会(島根県民会館) 2013 年 08 月 31 日
4) 横田隆志、中世金輪際伝承の諸相、日本文学協会第 33 回研究発表大会(神戸大学) 2013 年 07 月 07 日
5) 苜米地誠一、密教經典の日本伝来と成立 金剛智訳とされる經典をめぐって、第 2 回 中国密教国際学術検討会(陝西師範大学宗教研究中心)(招待講演) 2013 年 06 月 28 日
6) Takehiko Murakawa, Tatsuya Takehara (村川猛彦、竹原達也) Portable Full-text Retrieval System (ポータブルな全文検索システム) IARIA (イタリア・ローマ) 2013 年 06 月 25 日
7) 大谷由香、蓮如上人周辺と泉涌寺系浄土

教団「見蓮上人門徒」について、真宗連合学会第 60 回大会（龍谷大学）2013 年 06 月 14 日

8) 遠藤淳一、村川猛彦、ユーザ種別と閲覧時間を考慮した Web 情報検索の行動特性調査、情報知識学会（お茶の水大学）2013 年 05 月 26 日

9) 宇都宮啓吾、「智積院蔵『二障義』について その伝来を中心として」、第 57 回智山教学大会（別院真福寺）2013 年 05 月 25 日

10) 苜米地誠一、海住山寺聖教について、第 57 回智山教学大会（別院真福寺）2013 年 05 月 25 日

11) 大谷由香、智積院新文庫所蔵『梵網古迹下巻聞書』について、第 57 回智山教学大会（別院真福寺）2013 年 05 月 25 日

12) 野呂靖、聖憲撰『王心鈔』をめぐる諸問題、第 57 回智山教学大会（別院真福寺）2013 年 05 月 25 日

13) 赤尾栄慶・宇都宮啓吾、智積院所蔵の『二障義』の写本について、口訣学会（韓国）（招待講演）2013 年 02 月 22 日

14) 野呂靖、日本中世華嚴学における成仏思想 浄土思想への対応を中心に、韓国・金剛大学校第 11 回公開講演会「日本仏教の精神世界」（招待講演）2012 年 12 月 15 日

15) 大谷由香、日本仏教における戒と律、韓国・金剛大学校第 11 回公開講演会「日本仏教の精神世界」（招待講演）2012 年 12 月 15 日

16) 宇都宮啓吾、典籍として見た訓点資料、国際シンポジウム「韓国と日本において流通された 古代仏教典籍」（韓国：口訣学会・書誌学会）（招待講演）2012 年 06 月 15 日

17) 宇都宮啓吾、ワコト点展開史から見た智積院蔵『上新請来経等目録』について、第 56 回智山教学大会（別院真福寺）2012 年 05 月 19 日

18) 大谷由香、真言宗智山派と海住山寺、第 56 回智山教学大会（別院真福寺）2012 年 05 月 19 日

19) 野呂靖、中世根来寺における諸宗教学の受容、第 56 回智山教学大会（別院真福寺）2012 年 05 月 19 日

20) 原悠也、村川猛彦、泉川友哉、中川優、光ディスク作成支援のためのコンテンツデータベースシステムの構築、2012 年電子情報通信学会総合大会（岡山大学）2012 年 3 月 23 日

21) 西谷功、泉涌寺と南宋仏教の人的交流、第 82 回禅学研究会学術大会（花園大学）2011 年 11 月 26 日

22) 能島覚、智積院新文庫聖教と浄土教典籍、日本印度学仏教学学会第 62 回学術大会（龍谷大学）2011 年 9 月 7 日

23) 野呂靖、智積院新文庫蔵『華嚴五教章』注釈書類にみる中世後期の華嚴学、日本印度学仏教学会、2011 年 9 月 7 日

24) 宇都宮啓吾、初期訓点資料の一問題 加

点意識と料具を巡る問題、国際ワークショップ「8 世紀の華嚴写経と日本の初期訓点資料」（招聘発表）（韓国）2011 年 9 月 2 日

25) 山本真吾、JAPANIZED WRITTEN CHINESE: ITS FEATURES

AND CONTRIBUTION TO THE HISTORY OF THE JAPANESE LINGUISTICS、The 13 th EASJ International Conference、August 24-27, 2011

26) 高橋秀城、仏教と文学の重なり合いをめぐって、仏教文学会（東洋大学）2011 年 5 月 29 日

27) 宇都宮啓吾、訓点資料から見た智積院新文庫聖教の一側面、第 55 回智山教学大会（別院真福寺）2011 年 5 月 18 日

28) 野呂靖、智積院新文庫蔵『五教章聞書』の基礎的考察、第 55 回智山教学大会（別院真福寺）2011 年 5 月 18 日

29) 大谷由香、智積院新文庫蔵『視覃雜記』について、第 55 回智山教学大会（別院真福寺）2011 年 5 月 18 日

〔図書〕（計 2 件）

1) 海津一朗編・三好英樹（共著）『中世都市根来寺と紀州惣国』（同成社中世史選書）368（269-293）2014）

2) 宇都宮啓吾（編・共著）・苜米地誠一・赤尾栄慶・山本真吾・山本秀人・横田隆志・高橋秀城・西谷功・大谷由香・野呂靖・能島覚・小宮俊海他『「根来寺聖教の基礎的研究 智積院聖教を中心として」』科研報告書』（436（1-436））

〔その他〕

ホームページ

<http://www.orcaland.gr.jp/~utsunomiya/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

宇都宮 啓吾 (UTSUNOMIYA KEIGO)

大阪大谷大学・文学部・教授

研究者番号：40257902

(2) 研究分担者

苜米地 誠一 (TOMABECHI SEIICHI)

大正大学・仏教学部・教授

研究者番号：00340456

赤尾 栄慶 (AKAO EIKEI)

独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館・上席研究員

研究者番号：20175764

山本 秀人 (YAMAMOTO HIDETO)

高知大学・人文社会・教育科学系・教授

研究者番号：30200835

山本 真吾 (YAMAMOTO SHINGO)
白百合女子大学・文学部・教授
研究者番号：70210531

羽田 聡 (HADA SATOSHI)
独立行政法人国立文化財機構京都国立博
物館・研究員
研究者番号：30342968

村川 猛彦 (MURAKAWA TAKEHIKO)
和歌山大学・システム工学部・講師
研究者番号：90304154

横田 隆志 (YOKOTA TAKASHI)
大阪大谷大学・文学部・准教授
研究者番号：90403211